



UNITED NATIONS
INDUSTRIAL DEVELOPMENT ORGANIZATION

An aerial photograph of the Tokyo skyline, featuring the prominent red and white Tokyo Tower on the left. The city is densely packed with various buildings, including modern skyscrapers and older structures. The sky is blue with some light clouds.

UNIDO ITPO TOKYO

**国際連合工業開発機関
東京投資・技術移転促進事務所**

年次報告書2015年版

UNIDOについて

UNIDO とは

国際連合工業開発機関（UNIDO）は国連専門機関の一つで、産業開発を通じて、貧困の削減、全ての人々が恩恵を受けられるグローバル化、環境の持続可能性を実現することを目指しています。

UNIDO の使命は、開発途上国や市場経済移行国において「包括的かつ持続可能な産業開発（Inclusive and Sustainable Industrial Development: ISID）」を促進し加速することです。

UNIDO のビジョンは、経済開発が包括的かつ持続可能な形で行われ、公平に経済発展を遂げる世界を実現することです。

UNIDO が取り組む主要テーマは、次の3分野です。

- ・ 生産活動を通じた貧困削減
- ・ 貿易に関するキャパシティ・ビルディング
- ・ エネルギーと環境

UNIDO は、生産活動を通じた貧困削減、貿易に関するキャパシティ・ビルディングによる開発途上国の国際貿易への参加、環境に配慮した産業の推進、およびクリーンエネルギーへのアクセス改善といった相互に関連する課題に対して、効果的な対策を提供する国連の専門機関です。

UNIDO の概要

設立：1966年

加盟国数（2016年3月現在）：170カ国

本部所在地：オーストリア／ウィーン

事務局長：リー・ヨン

職員数（2016年3月現在）：約700名

UNIDO 事務局長

2015年5月13～15日、UNIDO のリー・ヨン事務局長が日本を公式訪問しました。

滞在期間中は、政府機関（外務省、財務省、経済産業省）、在京アフリカ外交団、日本経済団体連合会（経団連）と個別会談を行い、5月14日に国連大学で開催したUNIDOセミナー「持続可能な産業開発と繁栄の共有」では、基調講演を行いました。今回の訪問の中でリー事務局長は、UNIDO と日本がこれまで培ってきた官民の協力関係を強調するとともに、ポスト2015年開発アジェンダを实践するにあたり、より一層強固な関係を築いていく決意を述べました。

UNIDO ネットワーク

UNIDO 本部 オーストリア／ウィーン



Vienna International Centre
P.O.Box 300, 1400 Vienna, Austria
Tel: (+43-1) 26026-0
Fax: (+43-1) 26926-69
E-mail: unido@unido.org



リー・ヨン事務局長



中山泰秀外務副大臣とリー事務局長



関芳弘経済産業大臣政務官とリー事務局長

3

連絡事務所 3 カ所
ベルギー／ブリュッセル
スイス／ジュネーブ
アメリカ／ニューヨーク

8

ITPO※ 8カ所
バーレーン
中国（北京）
中国（上海）
イタリア
日本
韓国
ナイジェリア
ロシア
※投資・技術移転促進事務所



53

計 53 拠点
地域事務所 11 カ所 [r] / 国事務所 23 カ所 [c] /
デスク・フィールド事務所 14 カ所 [d] / その他の拠点 5 カ所 [fp]

- << アフリカ >> 20
- ウガンダ [d]
 - エチオピア [r]
 - カメルーン [r]
 - コートジボワール [c]
 - コンゴ民主共和国 [c]
 - ガーナ [c]
 - ギニア [c]
 - ケニア [c]
 - シエラレオネ [d]
 - ジンバブエ [d]
 - セネガル [c]
 - タンザニア [c]
 - トーゴ [fp]
 - ナイジェリア [r]
 - ブルキナファソ [d]

- マダガスカル [c]
- マリ [d]
- 南アフリカ [r]
- モザンビーク [d]
- ルワンダ [d]

- << 中近東 >> 7
- アルジェリア [d]
 - エジプト [r]
 - スーダン [c]
 - チュニジア [c]
 - モロッコ [c]
 - ヨルダン [d]
 - レバノン [r]

- << アジア・太平洋 >> 13
- アフガニスタン [d]
 - イラン [c]
 - インド [r]
 - インドネシア [c]
 - カンボジア [d]
 - スリランカ [fp]
 - タイ [r]
 - 中国 [r]
 - パキスタン [c]
 - バングラデシュ [d]
 - フィリピン [c]
 - ベトナム [c]
 - ラオス [d]

- << 欧州・中央アジア >> 5
- アルメニア [d]
 - ウクライナ [fp]
 - キルギス [c]
 - トルコ [d]
 - ロシア [fp]

- << 中南米・カリブ海 >> 8
- ウルグアイ [r]
 - エクアドル [c]
 - キューバ [fp]
 - コロンビア [c]
 - ニカラグア [c]
 - ブラジル [c]
 - ボリビア [c]
 - メキシコ [r]

UNIDO 東京事務所とは

所長挨拶

国吉 浩

2015年9月にニューヨークで開催された「国連持続可能な開発サミット」において、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals: SDGs) が採択され、その目標9には「包摂的で持続可能な産業化を推進する」ことが明記されました。UNIDOの活動に対する国際社会からの力強い支持の表明です。

国連加盟国が集まった同サミットにおいては、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。SDGsは、その実現のために国連加盟国が共有する、次の15年間に向けた新たな開発目標です。SDGsの目標9は「強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともにイノベーションの拡大を図る」こととされ、UNIDOの使命及びUNIDOが推進する「包摂的かつ持続可能な産業開発 (ISID)」に対する期待が盛り込まれました。

UNIDOでは2015年を通じエチオピア、セネガルを始めとする様々な地域でのプログラムやプロジェクト、フォーラムを実施し、積極的にISIDを推進してきました。

UNIDO 東京事務所では、日本における要人訪問、会議、セミナーを通じてISIDを促進しています。当報告書にはリー・ヨン事務局長の日本訪問やUNIDO 工業開発報告書2016の発表など重要な活動が紹介されています。

UNIDO 東京事務所は、2015年も各種プログラムを積極的に推進しました。代表的なプログラムである投資促進官の招聘(デレゲート・プログラム)では、20名の投資・技術移転担当官が来日し、セミナーや展示会、個別面談を通じ



て日本からの海外直接投資や技術移転を誘致する推進活動に取り組みました。開催したイベントには計8千名以上が来場し、のべ1,400件の日本企業とのビジネスミーティングが行われました。こうした活動は日本企業の投資・技術移転プロジェクトと開発途上国・新興国のニーズをマッチングさせることに寄与するものです。また、アフリカアドバイザー事業ではアルジェリア、エチオピア、モザンビークの3カ国で現地ビジネスの専門アドバイザーが日本企業のプロジェクト推進や現地パートナー探しを強力に支援するとともに、日本や現地で開催される投資・ビジネスセミナーへの参加あるいは企画・運営を行いました。

最後に2015年を通してUNIDO 東京事務所へのご支援とご協力をいただきました各国政府、関係機関、企業の皆様へ感謝を申し上げます。私たちはさまざまな産業分野におけるパートナーシップ創出に引き続き取り組んで参りたいと思います。当報告書の情報が皆様のお役に立てば幸いです。ご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

UNIDO 東京事務所の使命

UNIDO 東京投資・技術移転促進事務所 (UNIDO 東京事務所) は、日本からの直接投資や技術移転を促進することで、開発途上国や新興国における「包摂的かつ持続可能な産業開発 (ISID)」の達成を支援しています。

UNIDO 東京事務所は、UNIDO と日本国政府が締結した合意に基づき、1981年3月に設置されました。世界各地に8カ所あるITPO事務所の一つです。

UNIDO 東京事務所の担当地域は途上国全体にわたっており、近年はアフリカや後発開発途上国への取り組みに力を入れています。対象分野も幅広く、製造業、農産物加工、環境・エネルギー関連産業だけでなく、中小企業の振興も支援しています。

UNIDO 東京事務所の概要



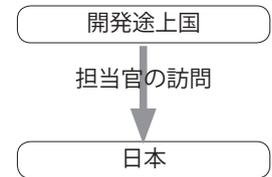
設立年：1981年
代表：国吉浩 (くによしひろし)
職員数：17名 (コンサルタントを含む)
住所：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目53-70 国連大学本部ビル8階
Tel: 03-6433-5520
Fax: 03-6433-5530

UNIDO 東京事務所の活動

投資担当官の招聘（デレゲート・プログラム）



投資促進や技術移転の担当官（主に政府機関や関連機関の職員）を日本に短期間（約2週間）招聘しています。日本の企業関係者に対して、セミナーや個別面談を通じて、現地の投資、法律、税制等に関する情報提供や個別相談を実施しています。

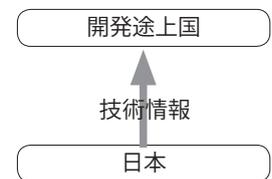


投資担当官招聘

技術移転



持続可能な開発に向けた取り組みを支援するため、日本企業の持つ、堅実で生産効率に優れ、環境に配慮した技術やノウハウを途上国向けに広く紹介しています。



技術移転

セミナーの開催



国内の関係機関と協力して、地域別、国別、テーマ別のフォーラム、セミナー、ワークショップを開催・後援しています。これらのイベントでは招聘した担当官が発表を行うほか、公務で来日する政府高官の訪問に合わせて開催することもあります。

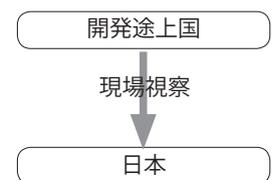


セミナー開催

キャパシティ・ビルディング



途上国からの視察団や駐日途上国大使館職員を対象に、ワークショップ、工場視察、技術展参加等のキャパシティ・ビルディング（能力開発）を実施しています。日本企業が持つ高い技術に触れる機会となり、日本の官民関係者とのネットワーキング作りにも貢献しています。

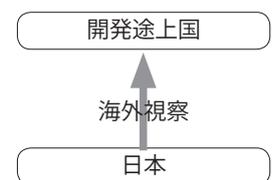


キャパシティ・ビルディング

海外活動支援



日本や海外の関係機関と連携して、ビジネスや技術の専門家の途上国訪問を支援しています。日本企業が途上国の現場を視察することで、現地政府とのパイプ作りやビジネスパートナー発掘を行うことができ、日本の技術を紹介する機会にもなります。



海外活動支援

投資担当官の招聘（デレゲート・プログラム）



概要

UNIDO 東京事務所は、日本から開発途上国および新興国への投資や技術移転を促進しています。これらの国々の担当官を日本へ招聘し、投資・技術移転の機会を紹介するイベントや日本企業との個別面談等、ニーズに合った各種プログラムを実施しています。

実績

担当官招聘 20 名 : 個別面談 392 件 / セミナー開催 8 回、参加者 1,194 名

投資担当官の招聘（デレゲート・プログラム）とは

投資促進や技術移転の担当官を日本に短期間（約 2 週間）招聘しています。日本の企業関係者に対して、セミナーや個別面談を通じて、現地の投資、法律、税制等に関する情報提供や個別相談を実施しています。

UNIDO 東京事務所によるサポート

- ・ 投資案件の紹介
- ・ 現地ビジネスパートナーの発掘
- ・ 関係者との面談・視察の調整
- ・ セミナー・懇談会等の開催
- ・ ビジネスコミュニケーション・交渉の支援
- ・ 来日中のオフィス環境の提供

応募資格

政府機関や関連機関の職員で、次の資格を満たす候補者の応募を歓迎します。

- ・ 年齢 30 ～ 45 歳で、管理職の経験がある
- ・ 英語での会話・読み書きの能力
- ・ 高い交渉力およびプレゼンテーション能力
- ・ 現地産業に関する豊富な知識
- ・ 報告書作成能力および PC スキル

費用負担

UNIDO 東京事務所が担当官の来日中の必要経費を負担する一方、訪日にあたっての渡航費は担当官の所属機関が負担。



モザンビーク

2015 年 3 月 1 ～ 15 日

ケンワッティ・ムアンド（サティ・ローヒット）氏

モザンビーク投資促進センター（CPI）
プロジェクト担当官

ケンワッティ・ムアンド氏は、来日したモザンビーク投資促進センター（CPI）総裁およびモザンビーク輸出促進機構（IPEX）総裁とともに、東京、名古屋、大阪で開催された「モザンビーク・ビジネスセミナー」に参加し、30 件の個別面談の中でモザンビークの投資環境について紹介しました。同氏の招聘は、今回で 3 回目となります。



ラオス

2015年4月6～12日

パノンコーン・ダララッサミー氏

サワン・セノ経済特区庁 (SEZA)
投資促進・法務担当部長

パノンコーン・ダララッサミー氏は、福岡・佐賀の木材加工事業者との面談のほか、SEZA 副総裁とともに東京での投資商談会に参加し、計 16 件の個別面談を行いました。同氏の招聘は今回で 2 回目となります。



東アフリカ共同体

2015年5月13～23日

ラメク・ウェソンガ氏

東アフリカ・ビジネス・カOUNシル (EABC)
リエゾン・オフィサー

ラメク・ウェソンガ氏は、東アフリカでビジネスを展開する日本企業と 12 件の個別面談を行い、ケニア、タンザニア、ウガンダ、ルワンダ、ブルンジから成る東アフリカ共同体 (EAC) の最新のビジネス動向について情報提供を行いました。また、5月14日に東京で開催された UNIDO セミナーに、2名の EABC の企業家とともに参加し、EAC の投資機会について紹介しました。



トルコ

2015年6月15日～7月1日

オヌル・チャーラル氏

西黒海開発庁 (BAKKA)
投資サポート室 コーディネーター

メフメット・チェティンカヤ氏

西黒海開発庁 (BAKKA)
戦略室長

オヌル・チャーラル氏とメフメット・チェティンカヤ氏は 31 件の個別面談を行うとともに、東京でのセミナーや「スマートコミュニティ Japan 2015」の UNIDO 展示ブースの中でトルコ西黒海地域の投資環境について紹介しました。また、2014年にビジネス協定を締結した北九州市を訪問しました。



バングラデシュ

2015年7月21日～8月1日

ジャラルル・ハイ氏

ハイソン・インターナショナル社
会長

ジャラルル・ハイ氏は、バングラデシュでビジネスを展開または検討している日本企業と 25 件の個別面談を行いました。また、東京ビッグサイトで開催された JWF インターナショナル・ファッションフェア展の会場で投資・ビジネス環境について講演を行いました。同氏の招聘は、2008～2011年のバングラデシュ投資庁在籍時の招聘に続くフォローアップとして行われました。

投資担当官の招聘（デレゲート・プログラム）



トルコ

2015年10月20～23日

セデフ・オゼル氏

イズミール開発公社 (IZKA)
投資サポート室 コーディネーター

ハリット・ドウラン氏

イズミール開発公社 (IZKA)
投資サポート室 スペシャリスト

セデフ・オゼル氏とハリット・ドウラン氏は15件の個別面談を行い、イズミール地域の投資環境とプロジェクトを紹介しました。また、東京と大阪で開催された「トルコ投資セミナー」では、エーゲ海フリーゾーン (ESBAS) のCEOとともに最新のビジネス情報を提供しました。



タイ

2015年11月15～21日

パリチャド・ブースワン氏

タイ工業団地公社 (IEAT)
持続的開発部門 サイエンティスト

パリチャド・ブースワン氏は北九州市で開催されたエコタウン・マネージャー研修 (SETM) に参加し、北九州市を含む企業・関係機関との14件の面談・視察を行いました。今回の招聘は、2014年にIEATと北九州市の間で締結されたタイでのエコタウン事業協力に関する覚書 (MOU) のフォローアップとして実施されました。



ブラジル

フラビオ・カバウカンテ

ペルナンブコ州水道局 (COMPESA)
エンジニアリング・プロジェクト・マネージャー



カンボジア

ロン・ナロ

プノンベン水道公社 (PPWSA)
副総裁



インド

シバナパ・クリシュナパ

ベンガルール上下水道局 (BWSSB)
技師長



インドネシア

ハリス・ズルカルナイン

ジャサ・ティルタ II 公社
事業本部長



モロッコ

ドリス・バハジ

モロッコ水・電力公社 (ONEE)
マーケティング部長



トルコ

ハカン・アルプソイカン

イズミール上下水道局 (IZSU)
浄水事業部長



ガーナ

2015年12月5～19日

アブドウル・ムミン・ザカリア氏

ガーナ投資促進センター (GIPC)
上級投資担当官

アブドウル・ムミン・ザカリア氏は食品加工セクターを中心に20件の個別面談を実施し、ガーナの最新のビジネス動向や投資環境について紹介しました。UNIDO セミナーの中でパネリストとしてデレゲート・プログラムの成果を報告し、食品加工会社訪問や技術展視察も行いました。

COMFAR デレゲート

2015年12月14～18日

過去に招聘した担当官の中からバングラデシュ、ラオス、セネガル、ザンビアの担当官を再度招聘し、UNIDO が開発した事業化可能性評価ツール (COMFAR III) に関する5日間の集中講座を実施しました。本講座は、UNIDO 本部と UNIDO 東京事務所の共催で開催され、UNIDO コンサルタントの西田氏が講義を行いました。

水ビジネスの専門家／6カ国

2015年11月22～28日

UNIDO 展示ブースと新興国における水事情とビジネスチャンスセミナー ～ INCHEM TOKYO 2015・水イノベーション～

UNIDO 東京事務所は、11月25～27日に東京ビッグサイトで開催された「INCHEM TOKYO 2015・水イノベーション」に出展しました。ブラジル・カンボジア・インド・インドネシア・モロッコ・トルコの6カ国から招聘した水事業の専門家が日本企業と計184件の個別面談を実施しました。3日間の開催期間中750名あまりがUNIDOブースを訪れ、UNIDOの活動全般や各国の水ビジネスの説明を受けました。

また、開催期間中の11月26日には日本能率協会および化学工学会と共に「新興国における水事情とビジネスチャンスセミナー」を開催しました。6カ国の専門家は自国の水道状況や水ビジネスの事業機会について紹介し、日本企業による水関連技術の移転が望まれる点を強調しました。セミナーには計550名が参加しました。



技術移転



概要

UNIDO 東京事務所は、持続可能な開発に向けた取り組みを支援するため、日本企業の持つ、生産効率に優れ、環境に配慮した技術やノウハウを途上国向けに広く紹介しています。

環境技術データベース登録件数 : 企業数 34 社、技術数 39 件

環境技術データベース

UNIDO 東京事務所の「環境技術データベース」は、途上国・新興国の企業と、優れた環境技術を持つ日本企業とのネットワーク作りを可能にし、ビジネスチャンスを提供します。

UNIDO 東京事務所のウェブサイトから、登録される技術情報を誰でも閲覧することが可能です。2016年3月現在、34社の日本企業が保有する39件の環境関連技術がデータベースに登録されています。



http://www.unido.or.jp/en/activities/technology_transfer/

カテゴリー・リスト

データベースに掲載される技術は、以下の3つのカテゴリーと21のサブカテゴリーに分類されます。

気候変動対策と省エネ

二酸化炭素の排出削減技術や、産業・家庭のエネルギー効率を改善するための技術

- ・ 農業、漁業、林業
- ・ 工業
- ・ 建物（ビルと住宅）
- ・ 発電部門
- ・ 再生可能エネルギー
- ・ コージェネレーション

環境汚染対策

空気、水、土壌等の環境汚染を予防・除去する技術

- ・ オゾン層破壊物質（ODS）
- ・ 大気汚染
- ・ 工業排水
- ・ 下水
- ・ 陸水
- ・ 海水
- ・ 土壌や地下水
- ・ 都市と住環境

廃棄物処理とリサイクル

3R（リデュース、リユース、リサイクル）等、廃棄物処理や廃棄物管理に貢献する技術

- ・ プラスチックリサイクル
- ・ ガラスリサイクル
- ・ 自動車リサイクル（ELV）
- ・ 製造プロセス
- ・ 一般廃棄物
- ・ 産業廃棄物
- ・ 医療廃棄物

2015年に新規登録した企業

(株)国際館

Nanotechnology & Industrial Coatings for Various Functions & Applications

この技術はあらゆる国で現地製造された塗料に「熱遮断機能」を付与できるものです。「熱遮断塗料」を屋根やガスタンク、オイルタンクその他表面に用いることで、その温度を10度以上下げることができます。また、ソーラーパネルに用いた場合には可視光を透過させることでそのパフォーマンスが1~3%向上します。



(株)中山鉄工所

Pico and Micro Hydropower Systems

この小型水力発電システムは遠隔地であっても、最小高低差約2~3mの河川の流れがあれば発電を行うことができます。大きな発電量が期待できる場所に設置できれば、送電網外でも高効率の電力システムを実現できます。マイクロタービンは成熟技術であることから、機械的部品（ペルトンホイール、クロスフローシステム）の製造は日本だけでなくインドネシアでも行うことができます。



野村興産(株)

Mercury Waste Recycling Technology

この技術を用いることで環境や人体への影響を及ぼすことなく蛍光灯、乾電池、血圧計、体温計等の廃棄物から水銀を取り除きリサイクルすることができます。当社の水銀処理プロセスは世界中で最も厳格な基準の一つとして知られている日本政府が定めた埋め立て処理のための排水基準に適合しています。



(株)ウェルシ

Decentralized Water Treatment System

この水処理技術は、既存の水資源を浄化し飲料水を作ることのできる、小規模オンサイト水処理・供給システムです。水源として、地下水、湧き水、公共サービスからの水を処理できます。また、取り扱う水質によって、ウィルス、バクテリア、抗塩素原生物、鉄分、マグネシウム、ヒ素を取り除くために、前処理プロセスと分離膜技術の両方を活用します。



RBC コンサルタント(株)

Water Treatment with Bakture System

「バクチャー」は、土壌と自然由来の材料から製造される粉末です。この粉を水に撒くだけで水中の微生物が活性化され、微生物の食物連鎖が復活します。その結果、汚染物質が電力や装置を使うことなく分解されます。バクチャーは河川、湖、排水など広範囲かつ高効率な水処理ソリューションを提供し、韓国、中国、ラオス、アメリカ、オーストラリア、カナダ、イギリスなど多くの国々で効果が実証されています。



JICUW (株)

Enhancement of Harvests by Activating Water Molecules

「ハイエット」は農業・畜産の生産性を高めるために開発された装置です。装置内部に向かって遠赤外線を発生させることによって水分子間の水素結合を分離させ、自由分子を生み出します。生み出された自由分子には農業収穫を高める作用があります。水道管やホースの外側に簡単に取り付けることができ、その効果はメンテナンスなしにほぼ永久に持続します。



低炭素・低排出クリーンエネルギー技術移転プログラム (LCET プログラム)

低炭素・低排出クリーンエネルギー技術 (LCET) は、エネルギー貧困、雇用創出、気候変動という途上国が抱える3つのグローバルな課題に対して、全てを同時に解決できる可能性を持っており注目されています。

UNIDO は経済産業省と共同で、実証プロジェクト、キャパシティ・ビルディング、ナレッジ・マネジメント (知識管理) 等の活動を通じて、LCET の普及を目指した協力事業を実施しています。LCET プログラムの第一フェーズでは、エチオピアとケニアがそのパイロット国に選定されました。案件化調査を経て、超低落差水力発電 (ULH-MHP) のパイロットプロジェクトが両国で実施されています。このプロジェクトは、地域のエネルギー需要を満たすとともに地域産業や社会発展に貢献することが期待されます。

UNIDO 東京事務所は開発途上国に移転可能な日本企業の技

術を選定する過程で同プログラムに協力しています。パイロットプロジェクトの対象となる技術は、独自性や市場の受容性、社会経済インパクト等を勘案して選定されます。



超低落差水力発電実証サイト (エチオピア)



専門家育成本邦研修

セミナーの開催



概要

UNIDO 東京事務所はセミナー、ワークショップおよびフォーラムを開催・後援し、様々な展示会やイベントに参加して、UNIDO の活動および途上国・新興国の情報を紹介しています。開催イベント一覧については、22～23 ページをご覧ください。

実績

セミナー 41 件 : 参加者 5,649 名 / 個別面談 820 件
展示会 4 件 : 参加者 1,750 名 / 個別面談 205 件

UNIDO セミナー「持続可能な産業開発と繁栄の共有 ～ポスト 2015 年開発アジェンダ時代の官民連携～」



UNIDO は 2015 年 5 月 14 日、リー・ヨン事務局長の来日に合わせてセミナーを開催し、官民の関係者や駐日外交団など 244 名が参加しました。基調講演ではリー事務局長が UNIDO による「包摂的かつ持続可能な産業開発 (ISID)」の取り組みを紹介し、開発途上国での UNIDO プロジェクトにおける日本の貢献を強調しました。さらにセミナーの中では、エチオピア、セネガル、東アフリカ共同体 (EAC) 等のアフリカ諸国において実施中の UNIDO の活動を紹介するセッションが設けられ、各国駐日大使や UNIDO 本部担当官、官民の代表者が講演を行いました。



ECOWAS 日本ビジネスフォーラム

第1回 ECOWAS 日本ビジネスフォーラムが、2015年10月28日、29日の二日間に ECOWAS 主催で開催され、UNIDO 東京事務所とアフリカ開発銀行が共催しました。本フォーラムでは、2013年の第5回アフリカ開発会議（TICAD V）の成功を受け、ECOWAS 加盟国のビジネス機会や、同地域で進められているプロジェクトの紹介が行われました。日本企業・団体にとっては、銀行、金融、インフラ開発（輸送、エネルギー、情報通信）、農業、鉱業、文化、旅行業などの分野における投資機会を認識する機会となりました。500名あまりの日本企業や政府関係者がイベントに会場し、ECOWAS 関係者と交流を行いました。



アルジェリア・ビジネスセミナー

アルジェリア・ビジネスセミナーが2015年11月10日に東京で開催され、130名以上の参加者がアルジェリアの最新のビジネス情報・投資機会を知る貴重な機会となりました。アルジェリアからの官民招聘者によるパネルディスカッションでは、参加者との意見交換が行われました。セミナー終了後の名刺交換会では日本側の参加者とアルジェリアからのビジネス・政府関係者が直接交流することができました。今回のセミナーは、UNIDO 東京事務所が主催し、駐日アルジェリア大使館、駐アルジェリア日本大使館、中東協力センター、JETRO の後援を得て開催されました。



UNIDO セミナー「Partner for Prosperity」(繁栄のパートナー)

UNIDO は2015年12月18日、東京で国連大学とともに UNIDO セミナーを開催しました。駐日外交団、日本政府関係者、民間企業関係者など100名以上が参加しました。

第1部では、UNIDO が「包摂的かつ持続可能な産業開発 (ISID)」における技術革新の役割に焦点をあてた主要刊行物「2016年工業開発報告書」の内容について発表しました。報告書の執筆者、大学・研究機関の専門家が、特に製造部門に

おける技術革新は「包摂的かつ持続可能な産業発展」を可能にする構造変化の引き金となりうることを説明しました。

第2部では、日本と連携して実施された投資・技術移転促進活動の発表が行われました。投資促進招聘官が活動結果や成功談を報告し、また、UNIDO 東京事務所が行ったビジネスミッションによる現地調査結果の報告が行われました。



キャパシティ・ビルディング



概要

途上国からの視察団や駐日途上国大使館職員を対象に、ワークショップ、工場視察、技術展参加等のキャパシティ・ビルディング（能力開発）を実施しています。日本企業が持つ高い技術に触れる機会となり、日本の官民関係者とのネットワーキング作りにも貢献しています。

実績

大使館プログラム 5 件 : 参加者 142 名
視察団 9 件 : 参加者 25 名

現地視察

UNIDO 東京事務所では途上国・新興国からの訪日視察団の受け入れを支援しており、特に、日本が有する高い環境関連技術等に触れられる企業の施設への現地視察を行っています。

スーダン：大豆の生産・加工に関する視察研修

UNIDO 東京事務所は、2015 年 1 月 13～16 日、UNIDO 本部の大豆に関するバリューチェーン構築プロジェクトの一環として 5 名のスーダン共和国工業省の派遣団を受け入れました。派遣団は、大豆加工工場や製菓加工業者、販売店を訪問しました。加工工場では、加工技術や機械の使用法について説明を受けるとともに、スーダンにおける実証プロジェクトについて活発な議論が交わされました。参加者は、日本で流通する大豆製品の幅広さに強い印象を受け、スーダンで広く栽培される大豆を活用して付加価値製品を生み出すという概念を理解する機会となりました。

事業化可能性評価ツール (COMFAR) 研修

バングラデシュ、ラオス、セネガル、ザンビアの担当官を再度招聘し、財務分析や投資プロジェクト評価の方法について基礎研修を実施しました。

2015 国際ロボット展 (iREX2015) への訪日視察

ウルグアイ工業エネルギー鉱業省のカロリーナ・コッセ大臣とサンパウロ大学のヴァルディール・グラッシ・ジュニア准教授がロボット技術と人工知能技術の視察のため 2015 国際ロボット展 (iREX2015) を訪れ、日本企業や大学と意見交換を行いました。



大使館プログラム

在京途上国大使館の職員を対象に、ワークショップ、展示会視察ツアー、ビジネスミーティング等を開催して日本の最新の製造技術や環境関連技術を紹介しています。

2015年には在京大使館の外交官142名がこれらのイベントに参加しました。



スマートコミュニティ Japan 2015



川崎国際環境技術展 2015



エコプロダクツ 2015



2015 国際ロボット展

訪日視察団

途上国・新興国から官民の高官が来日した際に表敬訪問を受け、投資促進や技術移転に関する連携の可能性について協議を行っています。

・ アンカラ地域開発機関 (ADA) トルコ

アリフ・サイーク事務総長他関係者がネットワーク作りのため来日。

・ サワン・セノ経済特区庁 (SEZA) ラオス

トンサイ・サヤヴォンカムディ副総裁が木材加工視察団と来日。



・ 東アフリカ・ビジネス・カウンシル (EABC)

アヴコ・インベストメンツ社のカケ・ダリワル代表とムクワノ・グループのルワブオゴ・ブシングジェネラルマネジャーが東アフリカ・ビジネス・カウンシル (EABC) を代表し UNIDO セミナーのパネリストとして来日。

・ トラキア投資公社 トルコ

マホメット・サヒン総裁他関係者が投資促進に関する協議を行うため来日。

・ 投資庁 (BOI) スリランカ

ウパル・ジャヤスリヤ会長とレヌカ・ウィラコネ執行役員が商談のため来日。

・ インジ・ホールディングス トルコ

ペリハン・インジ会長とネーゼ・ゴーク社長がパートナーシップに関する協議を行うため来日。

・ アルジェリア官民代表団

ファリド・ティアイバ財務省官房長、アルジェリア経営者フォーラム (FCE) のメフディ・ベンディメラド副代表、アブデルクリム・マンズーリ投資開発庁長官が、アルジェリア・ビジネスセミナーの機会に合わせ、UNIDO アドバイザーであるリーズ・ケラール氏とともに来日。

・ エンカ建設貿易会社 トルコ

社長兼執行委員会委員長であるマホメット・タラ氏と幹部からなる視察団が、ネットワーク作りのために日本を訪問。来日中はインフラ関係団体との会談を実施。



海外活動支援



概要

UNIDO 東京事務所では、UNIDO 現地事務所および途上国・新興国の政府や民間部門のネットワーク、またアフリカアドバイザー事業を通じて、日本企業の海外活動を支援しています。

実績

海外視察 45 件

水ビジネス交流ミッション 2015（インド）

UNIDO 東京事務所と日本能率協会（JMA）はインドビジネスセンター（IBC）、UNIDO インド地域事務所、NPO 法人クロス・フィールドとの共催で 2015 年 12 月 7～12 日、水関連技術分野のビジネス視察団をインドへ派遣しました。

視察団はベンガルールとデリーを訪問し、8 か所の水処理施設の視察や現地企業や JETRO、州政府関係者との 8 件の面談を行いました。また、ベンガルールでのレセプションやデリーにおけるワークショップにも参加しました。



アフリカアドバイザー事業

2013年から、UNIDO 東京事務所ではアルジェリア、エチオピア、モザンビークのアフリカ3カ国でのビジネスに関心のある日本企業を支援しています。

この事業は、現地ビジネスに関する情報の提供、現地政府機関との面談の取りつけ、パートナー企業とのマッチング支援、現地視察の調整などを通じて、日本企業に対してコンサルティング・サービスを

提供することを目的としています。

対象3カ国にそれぞれ現地人 UNIDO アドバイザーを配置し、投資・パートナーシップ・技術移転を推進するため、日本企業や現地企業と密に連携しています。事業開始以降、84社の日本企業が UNIDO アドバイザーの支援を受けており、現地進出を積極的に検討する企業が増えてきています。



アルジェリア

リーズ・ケラルル氏

2015年11月10日に東京で開催されたアルジェリア・ビジネスセミナーではアルジェリア政府・民間企業要人の招聘を実現し、「アルジェリアでの投資機会と成功への鍵」と題したパネルディスカッションではモデレータを務めるとともに講演を行いました。



現在注目している分野は自動車、医療・保健、製造業です。

エチオピア

タデッセ・セグニ氏

2015年7月14日、アジスアベバで開催された第3回開発資金国際会議の中で開かれた「第3回 ISID フォーラム」に参加しました。その後、会議に参加した日本企業の活動のフォローアップを行いました。



現在注目している分野は皮革加工、園芸、農産品加工、蓄電、太陽光エネルギーです。

モザンビーク

ナンディオ・ドゥラン氏

2015年11月に実施したモザンビークへの日本企業のビジネス視察団への支援として官民関係機関との面談や現地視察の調整、その他運営・準備を行いました。



現在注目している分野は漁業、水産業、自動車、太陽光エネルギーです。

水産加工関連ビジネスミッション（モザンビーク）

UNIDO 東京事務所は、2015年11月8～14日、モザンビーク投資促進センター（CPI）との共催で、水産加工セクターへの投資・技術移転のためのビジネス視察団をモザンビークへ派遣しました。視察団にはモザンビークでの新規事業開拓

に関心のある日本企業9社10名が参加しました。滞在期間中、マプトとベイラにある公設魚市場、港、水産加工工場を視察し、現地パートナー企業との将来の事業可能性について調査しました。



推薦の言葉



UNIDO 東京事務所は、さまざまな途上国・新興国および日本の官民関係者と連携しています。私たちの活動に関わっていただいた全ての皆様の協力に、心から感謝申し上げます。関係者の方々から頂戴したコメントの一部を、以下にご紹介します。皆様から英語で頂いた原文を UNIDO 東京事務所が日本語に翻訳したものです。

投資担当官の招聘（デレゲート・プログラム）

ガーナ

アブドゥル・ムミン・ザカリア氏
ガーナ投資促進センター (GIPC)
上級投資担当官

デレゲート・プログラムへ参加したことでガーナ投資促進センターと日本の投資家との間の接点を作ることができました。ガーナが持つポテンシャルに日本企業が注目し、ますます関心を持っていただけたと思います。このプログラムの中で 18 件の様々な業種の日本企業との個別面談を実施し、2 件の食品加工会社への現地視察を行うことができました。



技術移転

(株)鳥取再資源化研究所

竹内 義章氏
代表取締役

UNIDO の技術移転促進プログラムの一環で、節水型の野菜栽培システムで、乾燥地で保水を行いながら土壌改良をするポーラスαの紹介ビデオの制作に協力しました。そのビデオの中で、ポーラスαの特徴がわかりやすく示されており、大変感謝しています。今回のビデオは、2015 年 11 月 25～27 日に開催された INCHEM TOKYO 2015 の UNIDO ブースの中で上映され、展示会参加者から好評を得たと聞いています。



セミナーの開催

ECOWAS

ヤンゴー・S・テレウォダ閣下
ECOWAS 在京外交団長 兼
駐日リベリア共和国大使館
特命全権大使

2015 年 10 月 28～29 日に、第 1 回 ECOWAS 日本ビジネスセミナーを開催できたことを喜ばしく思います。UNIDO 東京事務所及び事務所のスタッフの皆様から、運営・広報面へのお力添えや協賛といった ECOWAS 外交団に対する素晴らしいサポートを頂きました。そのお陰で、今回の画期的なイベントを成功させることができましたことを心から感謝申し上げます。



キャパシティ・ビルディング

ブラジル

ヴァルディール・グラッシ・ジュニア氏
サンパウロ大学准教授

「2015 国際ロボット展 (iREX)」への参加を通じ、フォーラムや対話によって多くのことを学ぶことができ、大変嬉しく思っています。UNIDO から貴重な機会を頂き、ロボット展に参加することができました。ブラジルに帰国した後、同僚に対し今回の貴重な経験と日本におけるロボット研究の現状について共有したいと思っています。



海外活動支援

一般社団法人日本能率協会 (JMA)

上沖 典保氏
アジア共・進化センター
コンベンションセンター
リーダー

2015 年 12 月 7～12 日に開催されたインドへの水ビジネス視察団の派遣にご協力頂きました UNIDO 東京事務所に、心より感謝申し上げます。視察団は、ベンガルールやデリーを訪問し官民関係者との多くの面談や、上下水道施設の視察を行いました。同行した日本企業にとって今回の視察は実り多いものであり、インドへの進出検討がより一層進むことが期待されます。





"UNIDO セミナー" (東京)



バングラデシュの工場



"国際ロボット展" (東京)



"INCHEM TOKYO" 展示会



タンジール・フリー・ポート (モロッコ)

UNIDO 東京事務所は SDGs に貢献しています



9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 強靭なインフラを整備する
 包摂的で持続可能な産業化を推進する
 イノベーションの拡大を図る

SDGs : Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標

付録

投資担当官の招聘（デレゲート・プログラム）

	国名	実施日	訪日担当官	所属団体	役職
1	モザンビーク	3月 1-15日	ケンワッティ・ムアンド (サティ・ローヒット)	モザンビーク投資促進センター (CPI)	プロジェクト担当官
2	ラオス	4月 6-12日	パノンコーン・ダララッサミー	サワン・セノ経済特区庁 (SEZA)	投資促進・法務担当部長
3	東アフリカ 共同体	5月 13-23日	ラメク・ウェソング	東アフリカ・ビジネス・ カウンスル (EABC)	リエゾン・オフィサー
4	トルコ	6月 15日 -7月 1日	オヌル・チャーラル	西黒海開発庁 (BAKKA)	投資サポート室 コーディネーター
5	トルコ	6月 15日 -7月 1日	メフメット・チェティンカヤ	西黒海開発庁 (BAKKA)	戦略室長
6	バングラ デシュ	7月 21日 -8月 1日	ジャラルル・ハイ	ハイソ・インターナショナル社	会長
7	トルコ	10月 20-23日	セデフ・オゼル	イズミール開発公社 (IZKA)	投資サポート室 コーディネーター
8	トルコ	10月 20-23日	ハリット・ドゥラン	イズミール開発公社 (IZKA)	投資サポート室 スペシャリスト
9	タイ	11月 15-21日	パリチャド・ブースワン	タイ工業団地公社 (IEAT)	持続的開発部門 サイエンティスト
10	ブラジル	11月 22-28日	フラビオ・カバウカンテ	ペルナンブコ州水道局 (COMPESA)	エンジニアリング・ プロジェクト・マネージャー
11	カンボジア	11月 22-28日	ロン・ナロ	プノンベン水道公社 (PPWSA)	副総裁
12	インド	11月 22-28日	シバナパ・クリシュナパ	ベンガルール上下水道局 (BWSSB)	技師長
13	インドネシア	11月 22-28日	ハリス・ズルカルナイン	ジャサ・ティルタ II 公社	事業本部長
14	モロッコ	11月 22-28日	ドリス・バハジ	モロッコ水・電力公社 (ONEE)	マーケティング部長
15	トルコ	11月 22-28日	ハカン・アルプソイカン	イズミール上下水道局 (IZSU)	浄水事業部長
16	ガーナ	12月 5-19日	アブドゥル・ムミン・ザカリヤ	ガーナ投資促進センター (GIPC)	上級投資担当官
17	バングラ デシュ	12月 13-19日	ジャラルル・ハイ	ハイソ・インターナショナル社	会長
18	ラオス	12月 13-19日	パノンコーン・ダララッサミー	サワン・セノ経済特区庁 (SEZA)	投資促進・法務担当部長
19	セネガル	12月 13-19日	アダマ・ンディアイ・ゲイ	セネガル投資促進・大規模 公共工事公社 (APIX)	工業・インフラ・再生可能 エネルギー・鉱業担当課長
20	ザンビア	12月 13-19日	フランシス・チコンデ	ザンビア開発庁 (ZDA)	事務局長補佐官

技術移転

環境技術データベース

	企業名	登録技術	気候変動対策と省エネ	環境汚染対策	廃棄物処理とリサイクル
1	株式会社 BGCT・JAPAN	Solid Recovered Fuel 'Green Coal' - RPPWF™	X		X
2	株式会社 Biomaterial in Tokyo	Ethanol Production through Yeast Fermentation	X		
3	ドニコ・インター株式会社	Micro-Sizer: Glass Cullet Production Equipment			X
		Efficient Glass Interlayer Separation Equipment			X
4	エコサイクル株式会社	EcoClean and GreenClean Series for Bioremediation		X	
5	株式会社フミン	Coating for Ultraviolet and Infrared Ray Shielding	X		
6	株式会社 GS ユアサ	Solar Street Light	X		
		AKARi Solar Lighting System	X		
7	日之出産業株式会社	Elbic Series Solutions for Wastewater Treatment		X	
8	日立金属株式会社	Amorphous Energy Efficiency Distribution Transformer	X		
9	日本電力株式会社	Floating Solar Power Generation System	X		
10	JICUW 株式会社	Enhancement of Harvests by Activating Water Molecules	X	X	
11	株式会社カワトク	Remove Heavy Metals in Drinking Water		X	
12	株式会社キンセイ産業	Waste Incinerator of Gasification System	X	X	X
13	株式会社国際館	Nanotechnology & Industrial Coatings for Various Functions & Applications	X	X	
14	株式会社駒井ハルテック	Mid-Size Wind Turbine "KWT300" (300kW)	X		
15	株式会社熊本清掃社	Bio Plaza: Food Waste Recycling Facility	X		X
16	京セラ株式会社	Photovoltaic Module / Solar Hybrid System	X		
17	マイクロテック株式会社	Drinking Water Quality Analysis Technology		X	
18	株式会社中山鉄工所	Pico and Micro Hydropower Systems	X		
19	ネタフィムジャパン株式会社	Simple Drip Irrigation System	X		
20	日本原料株式会社	Eco-friendly Non-Electric Sand Filtration Device		X	
		Eco-friendly Mobile Sand Filtration Device		X	
		Eco-friendly Sand Filtration Device		X	
21	日本ベーシック株式会社	Bicycle-powered Water Purifying Equipment		X	
		Desalination of Seawater for Drinking		X	
22	日本植物燃料株式会社	Rural Energy Supply with Jatropha	X		X
23	野村興産株式会社	Mercury Waste Recycling Technology			X
24	株式会社オストランド	C-POWER Plant, SH Dryer (SHD)	X		X
25	パナソニック株式会社	Rechargeable Solar LED Lantern	X		
26	RBC コンサルタント株式会社	Water Treatment with Bakture System		X	
27	JAG シーベル株式会社	Micro Hydropower System (Ultra-low Head)	X		
28	株式会社伸光テクノス	Plastic Changing to Oil Machine (BP-2000N/5000N)	X		X
29	株式会社ソーエン	Water Treatment with Carbon Fiber		X	
30	株式会社トーテツ	Rainwater Harvesting and Underground Storage	X	X	
31	株式会社鳥取再資源化研究所	Porous System		X	
32	株式会社ウエルシィ	Decentralized Water Treatment System	X	X	
33	VPEC 株式会社	Power Router for ECONETWORK	X		
34	ヤマハ発動機株式会社	Rural Electric Water Sanitary Station	X	X	

付録

セミナー開催

セミナー／ワークショップ

	セミナー／ワークショップ名	実施日	開催地	参加者数
1	アフリカ経済の魅力と課題セミナー	1月20日	東京	180
2	バングラデシュ、インド、スリランカのファッション企業との商談会	1月21-23日	東京	273
3	トルコ投資セミナー（東京）	2月27日	東京	232
4	モザンビークビジネスセミナー（東京）	3月4日	東京	170
5	モザンビークビジネスセミナー（名古屋）	3月5日	名古屋	23
6	モザンビークビジネスセミナー（大阪）	3月6日	大阪	54
7	ニーム協会セミナー	3月20日	東京	50
8	第1回南部アフリカフォーラム・フォローアップセミナー	3月24日	東京	100
9	ガーナ貿易・投資フォーラム	4月2日	東京	183
10	ラオス木材企業との商談会	4月10日	東京	20
11	エチオピアビジネス投資セミナー	4月23日	東京	150
12	UNIDO セミナー「持続可能な産業開発と繁栄の共有」	5月14日	東京	244
13	カザフスタン・ビジネスセミナー（福岡）	6月8日	福岡	60
14	カザフスタン・ビジネスセミナー（大阪）	6月9日	大阪	25
15	カザフスタン・ビジネスセミナー（東京）	6月10日	東京	85
16	在京アフリカ外交官向けセミナー	6月12日	東京	103
17	トルコ（西黒海地方）投資セミナー	6月23日	東京	102
18	第2回南部アフリカフォーラム・フォローアップセミナー	6月24日	東京	107
19	ミャンマー魅力発信イベント「GRACE」	7月3日	東京	300
20	バングラデシュ・セミナー	7月22日	東京	150
21	かわさきグリーンイノベーションクラスター設立記念フォーラム	7月27日	川崎	128
22	ワークショップ「バングラデシュの現状」	9月10日	東京	30
23	アフリカ・ルワンダ共和国イノベーション・ICTビジネス・セミナー	9月11日	東京	100
24	第3回南部アフリカフォーラム・フォローアップセミナー	9月16日	東京	75
25	ナイジェリア日本貿易フォーラム	9月29日	東京	87
26	スリランカ投資庁投資相談会	10月8日	東京	10
27	トルコ投資セミナー	10月15日	東京	380
28	インド水ビジネス交流ミッション参加募集説明会および特別講演会	10月20日	東京	96
29	トルコ（イズミール）投資セミナー（東京）	10月21日	東京	80
30	トルコ（イズミール）投資セミナー（大阪）	10月23日	大阪	65
31	第1回 ECOWAS 日本ビジネスフォーラム	10月28-29日	東京	500
32	SE4ALL・グローバル都市間連携フォーラム	10月29-30日	東京	150
33	ミャンマービジネスセミナー	11月5日	東京	60
34	アルジェリア・ビジネスセミナー	11月10日	東京	134
35	ニーム協会セミナー	11月11日	東京	50
36	世界一楽しいアフリカ講座	11月14日	東京	150
37	第4回南部アフリカフォーラム・フォローアップセミナー	11月18日	東京	94
38	INCHEM TOKYO 2015 セミナー「新興国における水事情とビジネスチャンス」 -カンボジア、インド、インドネシア-	11月26日	東京	300
39	INCHEM TOKYO 2015 セミナー「新興国における水事情とビジネスチャンス」 -ブラジル、モロッコ、トルコ-	11月26日	東京	250
40	トルコ（マニサ地方）貿易・投資セミナー	12月9日	東京	72
41	エチオピア製造業への投資と工業団地開発セミナー	12月17日	東京	107
42	UNIDO セミナー「Partner for Prosperity」	12月18日	東京	120

展示会

	展示会名	実施日	開催地	ブース来訪者数
1	川崎国際環境技術展 2015	2月 5-6 日	川崎	100
2	スマートコミュニティ Japan 2015	6月 17-19 日	東京	500
3	グローバルフェスタ JAPAN 2015	10月 3-4 日	東京	400
4	INCHEM TOKYO 2015	11月 25-27 日	東京	750

キャパシティ・ビルディング

大使館プログラム

	活動内容	実施日	開催地	参加人数	参加国数
1	川崎国際環境技術展 2015	2月 5 日	川崎	24	20
2	在京アフリカ外交官向けセミナー	6月 12 日	東京	47	26
3	スマートコミュニティ Japan 2015	6月 17 日	東京	29	24
4	2015 国際ロボット展	12月 2 日	東京	27	20
5	エコプロダクツ 2015	12月 10 日	東京	15	13

現地視察／訪日視察団

	活動内容	実施日	参加人数	参加国
1	大豆製品・生産加工現地視察	1月 13-16 日	5	スーダン
2	アンカラ地域開発機関	2月 3 日	3	トルコ
3	サワン・セノ経済特区庁 (SEZA)	4月 10 日	1	ラオス
4	東アフリカ・ビジネス・カウンシル (EABC)	5月 14 日	2	東アフリカ共同体
5	トラキヤ開発公社	9月 29 日	3	トルコ
6	スリランカ投資庁	10月 8 日	2	スリランカ
7	インジ・ホールディングス社	10月 30 日	1	トルコ
8	アルジェリア官民視察団	11月 9-12 日	3	アルジェリア
9	エンカ社	11月 27 日	5	トルコ



UNITED NATIONS
INDUSTRIAL DEVELOPMENT ORGANIZATION

国際連合工業開発機関 東京投資・技術移転促進事務所

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目53-70 国連大学本部ビル8階

Tel: 03-6433-5520 Fax: 03-6433-5530

URL: www.unido.or.jp E-mail: itpo.tokyo@unido.org